

国内実態調査報告書

テーマ : プラスチック環境汚染と動物園の機能について
ゼミ名 : 西川 可穂子ゼミ
調査日 : 2019年10月27日(日)～10月28日(月)
調査先 : 城ヶ崎海岸(海洋プラスチック汚染調査)と伊豆シャボテン動物公園
授業科目名 : 演習Ⅳ
参加学生数 : 11名(4年生)

調査の趣旨(目的)

プラスチックフリーな生活を考える上で、海洋プラスチック汚染の状況を確認するために調査を予定した。また、伊豆シャボテン動物公園を訪問し、60年以上続いている「動物園」の経営戦略について検討をした。

調査結果

東京湾では、通常多くのマイクロプラスチックが見つかることが可能であるが、城ヶ崎海岸では、大きな海ゴミは確認できたが、多くのマイクロプラスチックを確認することはできなかった。伊豆シャボテン動物公園では、至る所に動物のエサが売られていた。また、檻ではなく柵で囲われ、直接生き物と触れ合える場所が多く設置されていた。特に珍しい動物がいるというわけではないが、これが観光客に人気のものであった。小さな子供連れのファミリーも多く、活気があった。動物の展示を工夫した動物園であった。